

2023年 9月 17日 《敬老祝福礼拝》

主 日 礼 拝

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 ②白川 達男兄

賛 美 讃美歌312番「いつくしみ深き」

～主の恵みはとこしえまで～

聖書朗読 ルカによる福音書23章32～43節

特別賛美 「十字架のかげに」 上田カルバリー聖歌隊

メッセージ 「天国ゆきの感謝人生」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌229番 ～アメイジング・グレイス～

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

「敬老祝福式」 ～God Bless You～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★本日は「敬老祝福礼拝」です。敬老の皆様の豊かな祝福をお祈り致します！

☆今週の祈り会：○早天祈祷会、明朝6時。 ◎木曜祈祷会：①午前10時半

（大和祈祷会ライブ映像）。 ②夜7時半。 ○準備祈祷会：土曜夜8時。

★来週の日曜午後は聖歌隊の練習が行われます。（司会：石井兄/祈り：石井姉）。

《予告》10/15(日)「秋の納骨式及び召天者記念礼拝」(教会納骨堂前にて)が行われます。

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [9/17ー/24]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	ローマ 14-16	1コリント 1-4	5-8	9- 11	12- 14	15- 16	2コリント 1-3	4- 7
チェック	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇

「天国ゆきの感謝人生」

～私たちが心から願っている世界～

しかし、もう一人の犯罪人は、それをたしなめました。「この期に及んで、まだ神を恐れないのか！ おれたちは悪事を働いたんだから、報いを受けるのはあたりまえだ。だが、このお方は悪いことは何もしなかったのだ。」そして、イエスにこう頼みました。「イエス様。御国に入る時、どうぞ私を思い出してください。」イエスはお答えになりました。「あなたは今日、わたしといっしょにパラダイス（天国）に入ります。」

ルカによる福音書23章40～43節 [リビングバイブル]

聖書の「伝道の書」という所に、こんな言葉があります。

「…死ぬる日は生るる日にまさる。悲しみの家にはいるのは、宴会の家にはいるのにまさる。死はすべての人の終りだからである。生きている者は、これを心にとめる。悲しみは笑いにまさる。顔に憂いをもつことによって、心は良くなるからである。賢い者の心は悲しみの家があり、愚かな者の心は楽しみのある家にある。」

ここは聖書は真実を語っていると感じる代表的な箇所です。私たちは表面的に幸せそうにふるまっても、その実は、本当に幸せなのか分かっていません。苦しみや不幸の中に本当の幸せが隠されているということも真実だと思います。

イエス様の十字架の場面をこのお祝いの礼拝の中で説教箇所として選ぶのはどうだろうか？と感じる部分もありますが、今日、どうしてもお伝えしたいメッセージ、それは、天国のメッセージです。その世界をお伝えしたいと願ってこの箇所を選びました。

イエス様とふたりの強盗。三人がカルバリーの丘にはりつけにされました。この三人の最期の言葉を聖書ははっきりと記しています。このふたりの強盗がどんな罪を犯したのかは分かりません。しかし、その一人が、最後に自分の罪を悔い改めて、隣に同様にはりつけにされているイエス様に救いを求めました。とても遠慮がちな言い方です。それは、神を恐れ、へりくだっている心であつたからです。「自分のような者が救われるはずがない。でも、あわれんで救って欲しい」と願いました。この心がすべての人に必要であると感じています。実は、イエス様は真っ先に「父よ、彼らをお赦し下さい。彼らは自分で何をしているのか分からないでやっているのです」と自分自身を妬んで、十字架につけた人々のために、また、すべての人類のために神の赦しを祈りました。その赦しの言葉を聞いて、最初に心を変えたのはこの一人の強盗でした。彼は自分の死を目の前にして、神を恐れ、そして、救いを求めました。

その言葉を聞いたイエス様は、すぐに、お答えになり、「あなたは今日わたしと一緒にパラダイスに入る」と。これは、赦しと救いの宣言です。

このイエス様の救いの言葉を今日、ここに来られたすべての方々、特に敬老の祝福をお受けになる方々にお送りしたいと思います。心を変えて、救いを求めるなら、今日救われるのです。そして、パラダイス＝天国の祝福（永遠の救い）の中に生きることができるのです。